

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・毎授業で ICT 機器や実物を用いることで生徒の興味関心を引くことができた。
- ・全学年、授業規律を意識して授業を進めることができた。

(2) 課題

- ・家庭科という授業事態に興味がない生徒が一定数見受けられた。
- ・授業に向かう姿勢が不十分な生徒もいた。

2 授業改善のポイント（観点別）

<知識・技能>

- ・知識及び技能の定着を図るための授業工夫を行う。（製作・調べ学習や発表活動等）
- ・調理に必要な知識の定着を図ったうえで調理実習を行う。（1年）
- ・製作に必要な知識の定着を図ったうえで被服製作を行う。（2年、3年）

<思考・判断・表現>

- ・授業プリントに場面設定例を設け、自分の考えをまとめさせるようにする。
- ・自分の考えをためらうことなく発表できるように、意見を聞く時間を授業内で多く設けるようにする。
- ・自分の考えを深めることができるように、他者の意見を聞く時間も設ける。
- ・被服製作ではそれぞれの個性を大切にしたいため、自由にデザインを考えさせる。

<主体的に学習に取り組む態度>

- ・毎授業 ICT 機器を活用し、生徒が視覚的に理解しやすいような授業を工夫する。
- ・電子黒板だけでなく、黒板も活用して知識の定着を図る。
- ・授業プリントに授業内容を振り返る欄を設け、学習したことを日常生活にどのように活かしていくかを考えさせる。